

★檀家さんに聞く

先代の北添茂さん

佐川町の斗賀野にある古民家を改装したアジア雑貨とカフェのお店サードアイ。今回はその店の店主であり、またマーダルサンガのリーダーも務められている北添紫光さんを紹介します。

マーダルとはネパールの民族楽器の両面太鼓、そしてサンガとは仏教から生まれた言葉で『協同して事を成す集まり』の意味です。このマーダルサンガは日本で唯一、マーダルを叩きながら歌い、年1回の発表会を開く、熱いワークショップです！



今年は7月16日(日) 14時～
桜座にて 前売り2000円です

2016年のコンサートの様子

🎵打楽器演奏者として長年活動してた親父が、仕事の依頼を受けて滞在してたネパールでマーダルに出会ったのがそもそもの始まりなんやけど、まあ、物事にはやっぱり『流れ』ってあるんよねえ・・・。
親父がここで店をやりだしてから、いろんな人が興味を持って集まってくれるようになったのよ。そして次第に、近所のおんちゃんおばちゃん達が店の奥でバチ持ってダツタカダツタカ、リズムの基礎練習をするようになって。(笑) それも皆音楽的にはプロを目指している訳ではないのに。
でも、やっぱりリズム練習だけやと飽きる、そこで親父が皆に勧めたのがマーダル。もともと親父には「ドラムを叩きながら歌ったらええやん。」って発想があったからね。で、叩いて歌って楽しくやってたら誰かが「私の好きな曲も皆でやりたい！」ってなってきて「それじゃ皆さんに聴いて貰おう！」ってことで早や17年。親父はそういう『流れ』に身を任せたのかなって、僕が親父のあとを継ぐ今になってはそう思う。



やっぱり、やりたくてやってる姿を見せたいね。僕がしんどがったら終わるのよ。でも、しんどくないのよ。それは、人が集まること、続くこと、そしてそれらが素敵な事なんだと気づいたうちの親父みたいな人がいて、その気持ちを受継いでくれた生徒さんが居てくれて・・・。

今の僕が12年前(茂さんが倒れた)に戻ったら、逆にもがき過ぎて潰れたかもしれん。程よくもがいて、程よく挫折して、程よく成果を得ての12年やったき、一回りグルーっとして、「うん！」っていう自分の顔きと共に何か解った気がした。でもそういうのを全部ひっくるめて、やっぱ『縁』かなって思う。

文化・芸能・宗教などの目に見えないけど確かに存在してるものが、今までの状態のままでは生き残るのが難しくなってる現代の状況、僕らはそれを悲観的に捉えるんじゃないかと、むしろ今こそ、音楽で人の心を感化したり、仏教でも説法で人に勇気を与えたりとかで、積極的に具象化していくべきなんじゃないかな？

例えば、気分の沈んでる人がパーンとコインを置いて「なんか音楽で気分上げてえ。」って言われてガッツと演奏して「あ～なんか楽になったわ！」って音楽の力を実感してもらえような。仏教でも、懺悔とか相談に来る人の間口をもっと広げて、経典の中から適宜引用しつつアドバイスして「あ～楽になりました！」とか言ってもらえような。そんな素敵なことを起せるよう、お互い挑んでいきたいよね。(笑)

「これは僕にしかできんことながって！」、そういう気持ちを持つことが大事じゃないかな。 ♪マーダル始めてみませんか？随時募集中(^_^)

TEL0889-22-0846
コーヒー&紅茶は全てネパール産
13時～17時営業 火曜定休

